

働くママへのメッセージ

子どものそばにずっといることがママの仕事？ 笑顔で働くママの姿は必ず子どもにいい影響を与える

春はスタートの季節。働き始めたママも多いのではないでしょうか。

国による女性活躍の推進により多様な働き方が認められ、以前に比べるとママたちが働きやすい制度や環境が増えてきていますが、「子育てしながら働く」ということはやはり大変なこと。各種介護サービスを展開する株式会社ウエルビーイング佐藤社長にお話を伺いました。



株式会社ウエルビーイング
代表取締役社長 佐藤健司さん

——「子育てしながら働く」ということについてお聞かせください。

「申し訳なさ」を感じる理由は2つあります。私は思います。1つは3歳まではママが子育てに専念すべきという「3歳児神话」。3歳まで一緒にいることが子どもにいい影響を与えるといわれていますが、やりたい仕事を我慢しそのライライを抱えているママとべったり一緒にいることは、果たして子どもにとって本当に幸せなのでしょうか。3歳児神话の根本は、子どもとのふれあいの質を高めることではないでしょうか。樂しそうにやりがいを持つて働くママの姿は子どもにいい影響を与えます。

2つ目は、社員全員が同じ時間、同じ働き方をするというこれまでの日本の働き方。これが当たり前と考える中での時短勤務や、子どもの体調不良や行事で休む

ことへの罪悪感があるのではないですか。しかし、これまでの働き方はもう古いのです。「これからは、それぞれのライフスタイルに合わせた働き方、十人十色の働き方でいる？」周りに迷惑をかけている？と思ふと不安です」と相談されたことがあります。

「申し訳なさ」を感じる理由は2つあります。私は思います。1つは3歳まではママが子育てに専念すべきという「3歳児神话」。3歳まで一緒にいることが子どもにいい影響を与えるといわれていますが、やりたい仕事を我慢しそのライライを抱えているママとべったり一緒にいることは、果たして子どもにとって本当に幸せなのでしょうか。3歳児神话の根本は、子どもとのふれあいの質を高めることではないでしょうか。樂しそうにやりがいを持つて働くママの姿は子どもにいい影響を与えます。

核家族化が進んだ結果、祖父母や兄弟、ご近所同士助け合うという環境が難しくなり、子どもの面倒は親だけが見るという状況が多いです。両親で分担し、周りの家族の支えがあればぜひサポートしてもらうべきですが、それが難しいママは働くことが大変です。

私は、ぜひ会社にある制度を利用しうまくワーカーライフバランスを保つことをおすすめします。例として時短勤務があります。ママの帰りが遅くなればなるほど子どもの睡眠時間が減ると考えれば、ママが時短で働くのは当たり前の事だと思います。ママの無理は必ず子どもの負担になってしまうのです。

私は、ぜひ会社にある制度を利用しうまくワーカーライフバランスを保つことをおすすめします。例として時短勤務があります。ママの帰りが遅くなればなるほど子どもの睡眠時間が減ると考えれば、ママが時短で働くのは当たり前の事だと思います。ママの無理は必ず子どもの負担になってしまうのです。

——これから働き方

毎日忙しいと仕事と家庭の区切りがつけにくいと思いますが、ダラダラと家庭と仕事のストレスを引きする事は止めましょう。家庭と仕事は別とハッキリと分け、何でも自分がやらなくちゃと思わず、周囲にサポートしてもらいたいながら両立できればいいと考えましょう。

両方のライライや悩みを互いに影響を与えないよう、負のスパイラルに陥らぬようになる事が大切です。そして「子どもと居る時間」ではなく、「子どもへ接する質」を上げて下さいね。ぜひ笑顔で活き活きと楽しく働くおかあさんの姿を子どもに見せて上げて下さい。



介護の事なら、お任せください！

株式会社ウエルビーイング TEL.027-386-8700 高崎市井野町376番地

- サービス付高齢者向け住宅 ○ケアビレッジ・ウエルビー井野
- 住宅型有料老人ホーム ○ウェルビー・浜川 ○セカンドステージ・壱番館 ○ウェルビー・岩井の丘 ○ウェルビー・中栗須
- 通所介護（デイサービス） ○ウェルビー・八千代 ○ウェルビー・井野
- 訪問介護 ○ウェルビー寺尾 ○ウェルビー井野 ○居宅介護支援事業所（ケアマネ） ○ケアマネジメント ミシオン

